

やっぺす通信 Vol.28

やっぺす通信とは「よこはま型若者自立塾」による石巻復興支援プロジェクト【うんめえもん市】の活動や石巻の現状、若者支援の活動報告をお伝えしています。石巻のおいしいお弁当を食べながら、遠く東北の地で頑張っている若者達に想いを寄せていただくと嬉しいです。今月もおいしいもの満載でお届けします。

2014.3.8 発行

やっぺす通信発行元

・NPO 法人ヒューマンフェローシップ

・うんめえもん市

www.k2-inter.com/ishinomaki

Tel:045-762-1435(覚知・田上)

うんめえもん応援団

「うんめえ弁当ファン倶楽部会長の考え」

応援ファイル No.11

つづきMYプラザ

(都筑多文化・青少年交流プラザ)

館長 林田 育美

K2の強みは社会の隙間から発せられた声を聴く力、それを直視して動く力、そして隙間の中で苦しいと感じている人達を、ほっとくことができない

優しさにあります。加えて、K2の動きは常にフットワークが軽く、楽しみながら周りを巻き込み、その結果地に足がついた「独特な豊かさ」を持っています。そのことを、いつも私は「うんめえ弁当」の中に見出すのです。

ほぼ毎回のようにデリバリーをお願いしている私は、実は「うんめえ弁当」をいただきながら、石巻の食材に舌鼓を打つだけでなく、作り手の本気度を客観的な視点で見続けています。なぜなら作り手は、「支援」としてだけではなく、お弁当を作っている他社との競争にも勝ちたいと、きつと願っているに違いないと思うからです。またそうでなければ、自信を持って我が子であるお弁当を送りだすことも、送り続けることもできないと思うのです。

復興の道のりは長く、何をもって復興したと言えるのか、その日がいつ訪れるのかわかりません。ある意味終わりのない努力と、思いの継続をひたすら強いられます。K2はその覚悟を持って、復興支援の「うんめえ弁当」を作り始めました。そして私はそれを食べることにしました。作り手の復興支援に対する覚悟をその都度真正面から受け止めることが、買い手である私ができるささやかな支援だと考えているのです。できるだけ率直な意見を言い、感想を伝えることが、どこに並べても受け入れられ、競争相手にも勝てる「お弁当という作品」につながるのではないかと、真の復興の源になるのではないかと、思うのです。

厳しい消費者の目にさらされ、その声に耳を傾け、アイデアを駆使し、その時々々の社会のニーズに対応したお弁当を作る事が、始めたことに対するはじめなのではないかと期待を込めて感じています。自称うんめえ弁当ファン倶楽部会長(?)の私は、そんなことを考えながら、ふたを開けた時の感動を味わい、彩りに目をやり、帯に記されたメニューとお料理の一つ一つを丁寧に確認して、本当に楽しみにいただいています。余計なことは知りつつ、私の厳しいチェックはきっとこれからも続きます。少々嫌がられるかもしれませんが、復興への心からの願いを込めて。

そして生産者と作り手へのエールを込めて。

3月うんめえ弁当 おしながき



○林田 育美さんご紹介(つづき MY プラザ 館長)

つづき MY プラザの館長として、国際交流の分野でも青少年の育成の分野でも横浜市子ども若者支援協議会の委員を務めるなどで活躍されています。昨年6月には、MYプラザ・K2に加え、他の2団体と準備の段階から協力し合い、都筑区にて「思春期セミナー」を2日間に渡って開催しました。うんめえもん市では、毎月うんめえ弁当をご注文頂き、デリバリーに伺わせて頂いています。

石巻現地の声——震災から3年が経って 渡波オイスターズ 代表 山田敬一

震災から3年が経ちます。石巻の町並みはある程度戻ってきましたが、今でもその日を忘れる事はありません。津波が来ると知り車で逃げている時にカーナビでニュースを観て衝撃を受け、自分たちがカキ養殖をしている万石浦の辺りは床上浸水程度で済んだのですが、5分10分と歩いて渡波のセブンイレブンの辺りに出た時に、ショックを受け、頭が真っ白になりました。牡蠣養殖も自分の中で順調にしていた時に震災がきて船もやられてしまったので、もうやめようかと思った時もありました。でも震災をきっかけに自分は変わることができました。震災からちょうど一年目に横浜に行き、渡波オイスターズを結成してからです。オイスターズの先輩たちと仕事をし、深い付き合いをしていく中で意識が変わり、牡蠣に対する思いが強くなり、仕事に取り組む姿勢も変わりました。K2と関わり横浜との繋がりが出来て、自分の価値観が広がりました。うんめえもん市で牡蠣の直販を始めたり、石巻と一緒にイベントに出店したりもそうです。去年からK2の若者たちが自分たちオイスターズの元で就労しています。みんなそれぞれ事情があったり、抱えているものがあったりする様ですが、話すのが苦手な人は少しでも話してもらえればと思っているし、一番は仲良くなりたいう気持ちです。牡蠣剥き以外でしかも地元の人じゃない若い人が入って一緒に仕事をするのは初めてだったので最初は慣れなくてやりづらさはありませんでしたが、今は全然問題ないし逆になくてはならない存在となっています。自分自身まだまだもっと先輩たちを見習って成長しなければならぬし、今は震災前よりも成長している実感は確かにあるけど、どうやってやっていったらいいのか模索しながらやっています。オイスターズとしても自分達の剥き場、生食販売、6次産業化など震災前にはやっていなかった事をやっていきたいです。今まで本当に色々な人達に支えられてやってきました。本当にありがとうございます。もう復興のための支援をしてもらうのではなく、震災から変わっていく姿を応援してもらえる様に頑張りたいです。これからも渡波オイスターズをよろしく願います。



山田さんは下列右から2番目です

○山田 敬一さんご紹介(渡波オイスターズの1人)

渡波オイスターズは、震災後、K2との出合いがきっかけになり結成された渡波の若手牡蠣漁師グループ。結成当初は6名でしたが、現在は賛同した漁師が増え8名のグループとなりました。山田さんは、結成当初からのメンバーで、現在は横浜の各店舗からの注文の窓口を担当されています。

クローズアップ ISHINOMAKI VOL.13

～石巻現地スタッフからの便り～

2月は全国的に大雪となりましたが、石巻では91年振りの豪雪に見舞われ、K2ハウス石巻のメンバーは全員総出で梨木畑の地域の方々と一緒に雪かきを行いました。石巻市内では除雪車が足りず、復興復旧工事を行っているショベルカーが至る所で雪かきをし、ダンプカーに雪を積んで空地に雪を運んで降ろし、それは瓦礫撤去を思い出させる風景でした。震災から3年が経ちます。被災した建物はほぼ撤去され、瓦礫はなくなり、空地が広がり当時の状況の説明を受けなければ一見なにもなかったかのように思われます。沿岸沿いでは被災した水産加工会社では工場は新しく復旧したところが沢山あります。しかし震災以前よりも社員が戻って来ず、働き手が不足しています。せっかく工場が立ち直りこれからという時に人手が足りないために生産量が上がりず採算ベースに乗せることができないという現状が続いています。短期ボランティア、パートタイムで週3回ではなく、フルタイムで勤務できる人材を求めている被災企業があとを絶ちません。石巻現地で若者自立就労支援×復興支援を行っているK2ですが、現地では牡蠣漁師さんの元で漁師を目指して就労している若者、水産加工会社で社員を目指して就労している若者が共同生活をしながら、それぞれが石巻、『定住就労』を目指し頑張っています。K2の若者たちと一緒に4年目もやっぺす!

石巻現地スタッフ・NPO ヒューマンフェローシップ 事務局長 福島 竜

よこはま型若者自立塾報

「JOBCAMP 石巻合宿」

2月18日から25日まで、JOBCAMP 石巻合宿が行われました。今回は、蛤浜プロジェクト手伝い、本田水産、仮設住宅ころ蛸営業手伝いに行ってきました。蛤浜プロジェクトは前回から行き始め、今回が2回目。春に向けて古民家を改装し宿泊できる場所を整備していて、その手伝いをしました。床板はがし、柱の撤去、壁や天井の掃除など、力仕事や汚れ仕事が多かったですが、徐々にきれいになっていく家に参加者みんなやりがいを感じたのか、時間がたつにつれ動きもチームワークも良くなっていきました。最も体力的にきつかったのが、柱の基礎石運びです。冷たい風が吹く中、海岸で平らで大きな石を選び、階段を上って宿泊場所となる家まで運ぶのですが、皆息も絶え絶えで、へとへとになっていましたが、終わった後は皆笑顔でした。一人でやるとただ疲れるだけの事も、大勢でやると喜びや楽しさに変わる、JOBCAMPの良さが出たと思います。本田水産はすっかり馴染みとなりました。(自分も本田水産の方にだいぶ顔を覚えてもらっています。)牡蠣の殻洗い(旅館などで出るグラタンなどの器になります。)とワカメのカット(莖と葉を分別)が主な仕事でした。昼食で温かい豚汁を出してくれたり、お土産にしめ鯖やワカメをくれたり、いつも温かく迎えてくれます。うんめえもん市でも関わりが深いので、今後も少しでも貢献していければと思います。ころ蛸営業の手伝い後は仮設住宅の方と夕食交流会をしました。石巻の今のことを話してくれたり、手作りのおかずを出してくれたりして、参加者皆笑顔で良い時間を過ごせたと言っていました。今回は皆で体を動かす、働くだけでなく、仮設住宅の方との交流会、蛤浜プロジェクトや石巻の方との交流が多い1週間だったように感じます。特に仮設住宅での交流会が印象に残っている参加者が多かったです。今後も今回のような時間がたくさん持てればと思います。



本田水産でのワカメカット作業



仮設住宅の方との夕食交流会

JOBCAMP スタッフ 石原 功大

うんめえもん市 今月のオススメレシピ

今回はうんめえもん市で出品されている「ふのり」を使った「ふのりの小女子ごはん」のレシピをご紹介します。

【ふのりの小女子ごはん】 ○材料(2人分)
米:1合 もち米:1合 ふのり:10g(洗い)
小女子:20g 水:2合 酒:少々 だし醤油:大さじ2

○作り方

- 1) 米ともち米をそれぞれ洗う
- 2) 洗い終えた米にふのりと小女子を入れる
- 3) 2)を終えたら、その中に水・酒・だし醤油を入れて米を炊く
- 4) 米が炊きあがったら、白ごまを混ぜて出来上がり



販売責任者

ちあっきー



3月・4月 うんめえもん市の開催スケジュール

◆ 3月の開催予定日

- ・17日(月) 都筑区役所 11:00~16:00
- ・19日(水) 南区役所 11:00~14:00
- ・22日(土) 中区本牧ケアプラザ祭り 10:00~16:00
- ・25日(火) 鶴見区役所 11:00~14:00
- ・28日(金) 栄区役所 11:00~14:00

◆ 4月の開催予定日

- ・6日(日) 小机城址まつり 9:30~15:30
- ・9日(水) 磯子区役所 11:00~16:00
- ・12日(土) K2ビル 11:00~14:00
- ・15日(火) 瀬谷区役所 11:00~14:00
- ・21日(月) 横浜市役所 11:00~14:00
- ・28日(月) 金沢区役所 11:00~14:00
- ・30日(水) 都筑区役所 11:00~16:00

※予定は変更される事があります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。